

# P L U S



 **Roland**

## ピアノプラスは、新しいピアノです。

初心者、ウェルカム。最近電子技術によって、誰にでもごく簡単にピアノ演奏が楽しめるようになりました。上級者、ご満足。高度な演奏テクニックに合わせてシステムアップでできるのです。それからこのコンパクトなスタイリング。アコースティックピアノの弱点をすべてクリアしました。さすがススンてる。いや、こうしたピアノを創り出そうとする発想こそ、いちばん新しいのかもしれませんね。



いつの時代も、進んでいるものには軽みが漂っている。

今、最もススンでいる映画監督の森田芳光いわく「たとえどんなに重いテーマでも軽く表現できないと取り残されてしまう。もう時代はすぶ濡れのズック靴のようには、決して重くならないよ」。どうですか、このアッパレなライト派宣言。軽いものがすべて進んでいるのではなくて、進んでいるものはライト感覚にあふれていて、広く世に受け容れられる——、と、ROLANDは、かように熟考するのであります。

# 進んでいるから、軽い。

## Mr.ライトヴォイス、サム・クック。

50年代から60年初頭にかけて、ユー・センドミー、ワンダフル・ワールド、キューピッド、オーリー・シックステインなどのヒット曲をとばし続けた、このハンサムな黒人ソウルシンガーの懐しいナンバーが、今、巷で静かなブームを呼んでいる。カフェエバーや瀟洒なバーなどで、ニューモダンなり混じって、乾いた風のような快い彼の歌声を耳にしたことのある人も少なくないはず。サム・クックのナンバーがこれほどウケてるのは、他の汗まみれ

絶叫タイプのソウルシンガーとは違った、まさにライトな感覚が彼の歌の中に漂っているからでしょう。軽やかさは、爽やかさ。ポップ性に富んだMr.ライトヴォイス、サム・クックの魅力をそのまま楽器におき換えたのが、ピアノプラス。どうりでどちらもキュートなスタイルです。

## 「ドントメツド」

デザイナー、スタイルリストといった横文字職業の進んだレディ達の間で、もうかなり以前から、ひそかに愛用されているのが西ドイツ製の練歯みがき「ドントメツド」。本国では親子代々ドントメツド以外では歯を磨いたことがない由々しき家庭もあるとかで、知る人ぞ知る、つて感じの小粋なステータス品なのです。成分は何とアルコール。

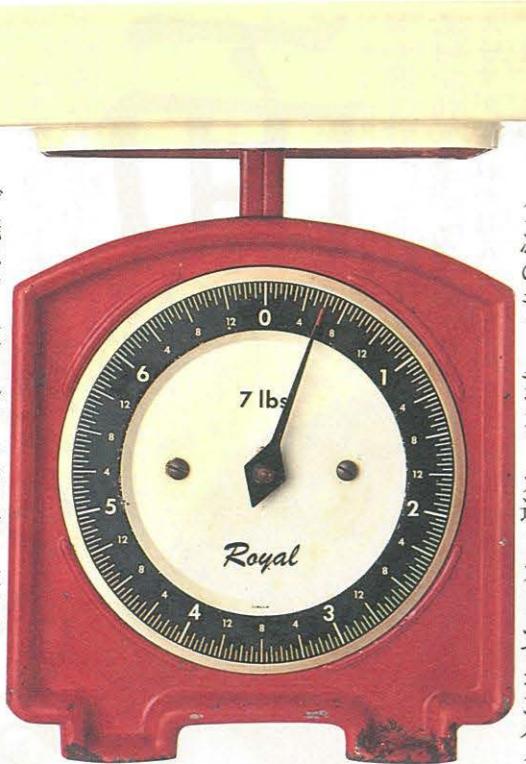
## スリム、ボディの、スイート・パワー。

乳白色の朝もやの中、軽いエンジン音を響かせながら海岸通りを疾走する時の、無上の快感！ 気の合う仲間やイトシキ人と、この快感を分かちあえるのが、ツーリングのダイゴ味。

今、進んでる夫婦の進んでる週末の過ごし方はツーリング、といわれる位に人気のレジャーとなっています。きっとハートウォーミングな世界にひたれるところがいいのでしょうかね。そんなワケで最近急増中の女性ライダーにお推めのバイクを一台。HONDA CBX 125F。がそれ。

ふつうこのクラスのバイクはちょっと女性には操作がやっかいなのですが、さすがCBX 125F。贅肉をそぎおとした流れのよろボディラインのキヤツチフレーズ通り、スリムでコンパクトな車体構成で、成熟したスイートなパワーも兼ね備えています。なにやらピアノプラスを彷彿させますね。

どうりでハートウォーミングな世界がよく似合うと思いました。なあほど。ピアノプラスのように、進んだ発想から生まれた良品の持つ軽やかさは、とめどなく爽快な気分



だ発想から生まれた良品の持つ軽やかさは、とめどなく爽快な気分



ピアノプラス20 ¥55,000 わずか6.6kgの超ライト、軽い軽いで、時代を先取り、場所を選ばぬ、行動派。

いちばん進んでいるもの  
を、いち早く見つけ出し  
て、なんの屈たくもなく

面白がる、こんな感性はティーン・エイジヤーだけの特権か  
と思いきや、当今ではユースーティの感性もなかなか  
かのもの。よ

# 面

の若い主  
婦の間で流行っているものに、  
なまけもの家具、なるものがあ  
りますが、これがほんとに面白い。  
では、さっそくご紹介を――。

アメリカ

家庭のゴミをロケットで発射。  
伸縮自在、全方向に回転自由な電気スタンドだと見ながら瘦せるペダル式  
自家発電テレビなど、珍奇な家具の創作でセンセーションをまき起こすのが大好き  
な異才、ファイル・ガーナーの極めつけ作品がコレ。土中で自然分解する素材のカプセル  
にゴミをつめて、家の中からゴミ収集場所まで飛ばしてしまえるのだそうだ。まさ  
に合理性とユーモアを尊ぶアメリカならではのシロモノ。日

本でもこのガービジ・シユート(ゴミ射撃)と名づけられた  
新兵器?で、マンションの5階に住む奥様がベランダから、  
ゴミ収集場所を狙ってズドン!  
なんてコトになつたら、  
さぞかし大したなまけ者になることでしょうね。でもとつ  
ても楽しそうです。楽しくなくては生きていいく資格がない、  
とピアノプラスも常々つぶやいてるそうですよ。だから  
ガービジ・シユートみたいなものも、もちろんあつていい、  
と思うのであります。



髪に栄養とヘアクリップ。  
髪にヘアクリップをつける、という変わったヘアスタイル  
が、青山、原宿、代官山あたりに出現しました。  
7~8cmはあろうかという、白やブルーのクリップを髪に1、2個はさみこむのです。別  
段理由もなくそうするところがイカスとか。胸や襟元につけ、ブローチに利用する方  
法も人気だそうです。いずれにしろ、肩  
ひじを張らずフランクな気分でいないと、進  
んでいる面白いものには、出逢えなさそうですね。  
というワケで、整然としたたたずまいのクラシック  
音楽を、ななめ聴き?で面白がる方法をおひとつ。それは  
本来の音楽を少しだけ離れて、有名無名の作曲家たちの日常の面白エピソードを垣  
間見てみよう、というもののです。

## 弟よ、人生でいちばん大切なものは……。

ベートーベン、彼の弟、ヨハンは晩年金回りがよくなつて小さいながらも土地の所有  
者となり、兄のもとに次のような名刺を送りつけた。「ヨハン・ヴァン・ベートー  
ベン、土地所有者」とすると兄から返事がきて、その末尾にはこういう署名がついて  
いた。「ルート・ヴァン・ベートーベン、頭  
脳所有者」。ニコロ・パガニーニ、イタリ  
アのヴァイオリンの名手パガニーニは、  
けちで有名だった。今をときめく美貌の  
歌姫がパガニーニとの結婚にやぶさかでな  
いという噂を伝え聞いていうには「なに、結婚?  
わしのヴァイオリンをただで聞こうという  
のだろう」。こういう感じの音

楽家の変わったエピソードでも、さりげなく話  
してきれば、進んだ人と尊敬されるかもしま  
せんよ。ところで、ピアノプラスも面白い。  
面白いのかといえば、これが実に弾けば弾くほど面白いので  
あります。まずは、実際にお試しください、ね。



ピアノプラス450 ¥236,000 MIDIでひろがるピアノ・プレイ。システム・アップで一層ゴキゲン。面白さ無限大!の88鍵・本格派。

# 白



進んでいるものが楽しい  
ワケは、進んでいるもの  
がさまざまな神秘的な謎  
を持つて いるからでしょ  
うね。ピアノプラスが、

必要がないのか、なん  
てのもちよつと謎めいて  
いませんか。機会あれば

名探偵ボアロにでもこの「謎」を解き明かして  
もらいましょう。ところであまり目立たな  
いけれど、不思議な構造をしたゲーム感覚のインテリアグ  
ッズのこと、ご存知ですか?

現代は、あけてビックリ、からくり箱。

開け方の奇抜さと難しさゆえに、パズ  
ル解きのような楽しさがいっぱいの、  
からくり箱。寄木細工の秘密箱の変形  
だけれど、秘密箱のように一定順序で

板をずらしさえすれば開くものではないところ

が、何ともニクイ。ころがさないと開かないものもあつたりと、意外な方法で開いた  
りするところが、とても楽しいワケです。またこれはインテリアグ  
ッズとしても実に存在感があるのです。木の材質を活かし  
たシンプルな表情、高度な木工技術に裏打ちされた、  
さりげない美しさが心を安げてくれます。そう、  
これは組み木パズルの「進化品」なのです。  
進んでいるから魅力も多彩。ピアノの進化  
品、ピアノプラスの傍に飾って、ためつす  
がめつ眺めてみれば、湧き出るメロディー泉のごとく、なんて具合にみず  
みずしい、奔放なイメージを刺激してくれそうな、マジック・ボックス  
を一家におひとつ、ドーグ。

シンクロナイズド・スイミングを撮る。

華麗な水の精のような肉体造型美で、多くのファンを  
獲得しはじめたシンクロナイズド・スイミング。リズ  
ミカルなメロディーに乗つて、はげしく優しく舞う数  
分間のファンタスティック・ドラマ。その典雅な一瞬  
一瞬をただ観ていても勿体ないと、当世楽しみ進歩  
人は、プールサイドにカメラを持ち込むのであります。ソロ、  
デュエット、チームの三種目を競うシンクロの、撮影ポイントは  
次の二点。すなわち、選手の表現したい演技アクションを選手の  
気持になり切つてキヤツチすることと、あまり細かいことを考えずにリズムに乗つ  
てバシバシ撮つていくこと。ソロの場合は水中から浮かび上がって、連続的な動き  
が水上で静止する瞬間がシャッター・チャンス。デュエットの場合は二人のコンビ  
ネーションの妙がテーマなので、あらかじめ演技内容を一度見て  
おいて、狙う一瞬を決めておく方がいい。チーム競技は人数が多い  
ので観覧席の最上階に陣取つて見おろすように撮りたい——。とまあ、  
それぞれにコツはあるものの基本はやはり前記のふたつ。これはまた  
ピアノ演奏に際しても同様なことがいえそうですよ。タツチなんてこと  
をあまり深く考えず、身体の奥でうごめくビート感を頼りに、ドンドン弾  
き進むこと、その方がよっぽど楽しいし、音楽してる気分になれるはず!  
アーユー、ALL RIGHT?

最も進歩的でリツチな。バーフオーマー。

快活でセクシーでダンサブル。今やハリウッドきつての貴重な財産、というよ  
りもカール・ルイスと並んで世界のスーパースターNo.1となつたマイケル・ジャ  
クソン。1958年8月29日、インディアナ州グーリー生まれの、この最も進歩  
的なパーフオーマーの偉業を、具体的な数値に換算してみると一体どうなるか。レコー  
ドの売り上げだけをとり出してみてもその凄まじさが証明されます。ジャクソ  
ン時代からの通算で1億枚以上のレコードセールスを記録、そのすべての  
アルバムを縦に積み上げると何と40kmにもなるというからスケールのほどが知れ  
ようというものです。また1984年の第26回グラミー賞では8部門を独占とい  
う快挙、これは1970年、サイモン&ガーファンクルの7部門を抜いた、まさに工  
ポックメーリングな新記録であります。ピアノプラスだって、グラミー賞を独  
しかねないくらいの、新しい面白さにあふれているのです。ボクも妹もお父さんも  
お兄さんも、みんなピアノプラスを弾くのは楽しくて仕方がないって感じです。

進んでいるから、  
楽しい。



リズムにのって自動伴奏。ハイ・テク演奏。楽しすぎてハート鳴り出す快楽派。ピアノプラスII ¥99,000



# 進んでいるから、

急テンポで進化していく  
音楽やファッショングや科  
学技術などと同じように、

住まいやそのインテリアにもニューウエイブとよぶべきものが押し寄せています。  
というワケで、最近の住まい設計傾向や、インテリアグッズの中に見られる、新・  
愛されるモノ、のご紹介をいざ。

## ハーブのある暮らし。

あでやかな色と、強いけれどすがすがしい香りを持つハーブ。田畠などなくとも、ベランダのほんの小スペースで生育ができることもあって今、ひそかな人気です。その色香で眼と心を堪能させてくれるハーブのある暮らしは、流されゆく日常生活に爽やかな感動を残してくれます。……などというより、たとえば初夏の北海道で咲き香る、あの紫色のラベンダーが自分家のベランダに引っこんできた情景をご想像ねがえれば、ハーブのある暮らしの魅力がわかるはず。あつ、ちょっといいな、ハーブのコトをもつと知りたい、と思われる方に、テキストを一冊ご紹介。広田晴子さんという方の「香りの花束」(講談社)。

ハーブは食べ物の香り添えや薬用にも重宝なので、もうすぐ沢山の愛好者が生まれそうです。ピアノプラスのように。さて次は、中庭のある住まいについて。



## 過密都市の中のオアシス。

そもそもわが国の住まいの特徴は、室内と外が渾然一体となつたような、自然なつながりも持つ庭のたたずまいにありました。最近の都市住宅事情が、道に面した開放的スペースを設けるのを容易には許してくれません。それならとう訳で、『中庭』を抱きかかえるような設計の住まいが集まっています。諸外国には『中庭』のさまざまなサンブルが存在し、たとえば南欧の回廊のあるインナースペースからフラットになっているものなどは、そつくりそのままわが国にも流用できそうです。さて、次は環境音楽のおはなし。

## 個に歸れる環境音楽、ドゥルツティ・コラム。

美しいギターのメロディーが、静かな心の動きにフィットし、快い世界が拓けてきそうな、ドゥルツティ・コラムの音楽。現代音楽的な無音の冷たさが漂う、ブライアン・イーノの環境音楽とはちがつて、印象的なピッキング、ギターの旋律が、そこはかとない優しさをたたえています。「ドゥルツティ・コラムの音楽を聴くことによって、僕は自分自身の心のスケッチをした錯覚にとらわれる。そのことが個人的になれる原因になつていて」と、音楽の紳人、鈴木博文にいわしめているように、通にも愛されるドゥルツティ・コラム。そんなワケで、通の人もそうでない人も、ドウルツティ・コラムとピアノプラスを一家にひとつ、ご用意ください。



音大出のママにも、猫ふんじやったのボクにも誰からも愛されるコンパクトな本格派。ピアノプラス70 ¥138,000

## 愛こそはすべて

愛といえばビートルズ。ビートルズといえば、愛こそはすべて。LP「マジカル・ミステリー・ツアーリー」に収録されたこの曲は、世界宇宙中継番組「OUR WORLD」のためにジョンとポールが書き下ろしたもの。フランス国家やイギリス民謡などをおり込んだ、親しみやすいメロディーで大ヒット。「ラブ・ゼネレーション」なんて流行語もこの曲から生まれました。それもこれもピアノプラスのよさや親しみやすいメロディーに起因しているのです。

でしよう、AND WE LOVE THEM.

それやこれやで、進んでいるから愛されています。ピアノプラス。今までの閉鎖的なピアノの世界を変えた、新しいピアノの魅力は無限大!

家族みんなの指と心が、一刻も早くアノプラスしたがつていませんか。

LET, S PLAY & FUN.



2

U

」

9



 **Roland**

ローランド株式会社

本社・〒559 大阪市住之江区新北島3-7-13 ☎06(681)8661  
営業所・札幌 ☎011(281)0708・仙台 ☎0222(25)6221・大宮 ☎0486(45)7737  
・東京 ☎03(251)5595・横浜 ☎045(313)3841・松本 ☎0263(26)8853  
・浜松 ☎0534(37)1231・名古屋 ☎052(241)4332・大阪 ☎06(681)8661  
・広島 ☎082(247)2731・福岡 ☎092(471)1481

NAM-242 1984 OCT. B-4 A-Y